

東大阪市のごみ事情



あなたの「ひと手間」が環境にやさしいまちづくりにつながります。
「資源の分別収集」にご協力をお願いします。

ごみ処理にかかるお金って…

ごみは大きく

- ①収集運搬
- ②中間処理（選別・焼却など）
- ③最終処分（埋立てなど）

という流れで処理されます。



▲大阪沖埋め立て処分場

例えば「焼却灰の埋立て」には…

処分（埋立て）料金 1トンあたり11,110円かかります。

令和4年度の最終処分量は、ごみの減量や分別のご協力により、令和3年度と比較して324トン減少しました。

（令和4年度） （令和3年度）

24,829トン - 25,153トン = -324トン

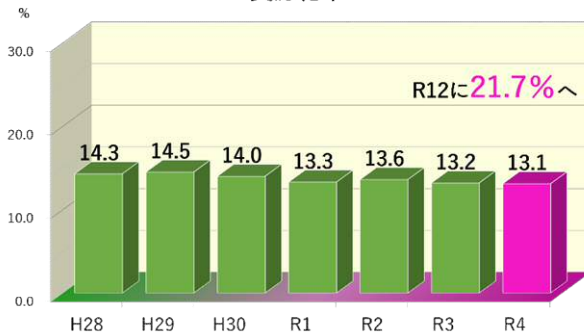
11,110円×324トン=3,599,640円（概算）となり、単純計算で、焼却灰の埋め立て

処分だけでも”約360万円の費用削減”につながったと考えられます。

引き続き、ごみの削減にご協力をお願いします。

どれくらい資源化（リサイクル）している？

資源化率



本市の資源化率は、平成29年をピークに下降傾向にあります。令和12年度までに**21.7%**にすることを目標としています。ごみの減量を図り、資源化率を上げることが急務です。そのための具体的な方法をご紹介します。

資源化率を上げるために…

日頃何気なく捨てている紙類や段ボールなどは、立派な資源です。燃えるからと家庭ごみに出す前に、一度考えてみましょう。また、今や皆さんの生活には欠かせない小型の家電類についても、都市鉱山と呼ばれるほど基板などに貴金属が含まれており、正しく回収すれば資源化することができます。皆さん一人ひとりが、考えを見直すことで、貴重な資源を枯渇させずに資源化を進めていくことができます。



拠点回収や地域の集団回収を利用してみましょう

段ボールや雑誌、新聞などの古紙類は、地域の自治会や子ども会で実施している集団回収でご排出できますので、ご利用ください。また、市内公共施設に設置されている古紙回収ボックスへもご排出いただけます。



集団回収について 拠点回収について



小型家電類は拠点回収を利用しましょう

ご家庭にある小型の家電類（ドライヤー、時計、ラジオなど）は拠点回収により資源化することができます。市内公共施設の小型家電回収ボックスをご利用ください。

一人ひとりのひと手間が
地球への思いやりとなります

